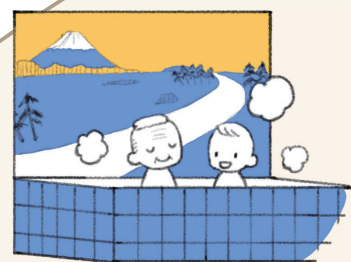
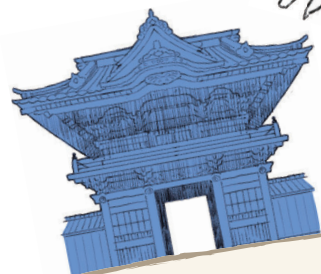


このまちが 好きになる冊子 できました。



2026年度版 葛飾区協働事例集

葛飾区協働事例集

発行日
令和8年3月

発行
葛飾区
〒124-8555
東京都葛飾区立石 5-13-1
03-3695-1111 (代表)
<https://www.city.katsushika.lg.jp>

編集
葛飾区政策経営部政策企画課
03-5654-8177 (直通)

取材・編集・デザイン
株式会社じも研



葛飾区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

協働サイトはこちら!



区公式HP



YouTube



Facebook



Instagram

葛飾区協働事例集の発行にあたって



葛 飾区は、人情にあふれ、地域内での人と人とのきずなが強い土地柄です。そのため、かねてより様々な人や団体、工業、商業、農業をはじめとする区内産業に携わる方々などにより、地域を良くしようとする活動が連携して行われてきました。

AIなどのデジタル技術が急速に発展し、人と人とのつながりが希薄になっていると言われる時代だからこそ、本区のこの特色を大切に、さらに発展させていく必要があります。本区と関わりのある方々や団体、事業者の皆様がそれぞれの特色を活かして協働することにより、地域を良くしようという活動を一層広げていきたいと思えます。

そして、この協働の取組が広がり、積み重ねられていくことにより、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を築くことができると考えています。

現在も様々な形で協働による素晴らしい活動や事業が活発に行われています。そのごく一部ではありますが、14団体に取材をさせていただきました。

今回で12冊目の発行となりますが、これまでご紹介した方々をはじめ、各方面の皆様からの反響も大きく、喜んでいただいております。今年も、この事例集により、本区で行われている協働の取組やそれに携わる方々の熱い思いなどを皆様にお伝えし、一人でも多くの方に地域を良くする活動に関心を持っていただき、また、参加していただけるようになればと考えております。

最後になりますが、本事例集の作成にあたって取材にご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

令和8年(2026年)3月 葛飾区長 **青木 克徳**

「協働」ということばを、 きいたことがありますか？

きょうどう【協働】

「同じ目的のために、対等の立場で協力してとものにはたらくこと」と辞書にはありますが、なんだか難しそうですね。

「私には関係ない」と思った方もいるかもしれません。

しかし葛飾区では、区民の皆さまが、「より良いまちにしよう」という思いで取り組んでいるすべての活動を「協働」と考えています。葛飾区は長年、「協働のまち」づくりを推進してきました。

このまちに住んでいる人、このまちで働いている人や団体。みんなが互いに理解・尊重し合いながら、まちのために活動する。

そのような輪がどんどん広がることで、みんなが愛着を持ち、誇れるまち「ふるさと＝葛飾」が実現します。

そのためにこの冊子では、葛飾区でさまざまな取り組みをしている人や団体にスポットをあて、どんな活動をしているのかをご紹介します。まずは知ることから、葛飾区への愛着を深めていただければ、こんなに嬉しいことはありません。



立石駅と四ツ木駅を中心に運行中!
誰でも無料で乗れる"地域の足" P23

一般社団法人
東立石グリスロ運営協議会

葛飾区の住宅を快適で安心、健康的な住まいに!
体験型イベントやセミナーで省エネ健康住宅の普及を目指す P25

かつしか省エネ再エネ
健康住宅普及促進連絡会

子どもたちの努力と健康を祝福!
区内の小学校6年間無欠席児童を表彰 P27

東京葛飾東
ライオンズクラブ

伝統文化に触れることで、子どもたちの豊かな心を育む!
区内の小学6年生の児童に狂言教室を実施 P29

東京亀有
ライオンズクラブ

「いつでも」「誰でも」「いつまでも」楽しめる生涯スポーツ
バレーボールの魅力伝えるため昭和23年から活動 P31

葛飾区バレーボール連盟

協働推進担当からのお知らせ

- ▶ 葛飾らしい協働の輪を広げていくために P33
- ▶ 協働のまち葛飾 下町川柳コンクール P35
- ▶ 葛飾みんなの協働サイト P36
- ▶ 葛飾区職員出前講座 P37
- ▶ 動画で見る! 葛飾区の協働 P38
- ▶ 葛飾協働まちづくり表彰 P38

SDGs推進担当からのお知らせ

- ▶ 協働をすすめさらに持続可能な葛飾へ P39

社会福祉協議会からのお知らせ

- ▶ ボランティア・地域貢献活動センター P41

「協働」ということばを、きいたことがありますか? P1

区長あいさつ P2

体操から歌声喫茶、落語にマージャンまで!
シニアが無料で楽しめるイベントを毎月開催 P5

西五みんな健康教室

ウィーン市フロリズドルフ区との友好からはじまった
笑顔と花、音楽があふれる柴又の新しいおまつり P7

柴又フロリズ通り
フェスティバル実行委員会

古布を燃やすごみではなく、資源として活用
お買い物ついでにエコ活動! P9

株式会社
ライフコーポレーション

共に笑顔で暮らすために、地域による
"ゆるやかな見守り"で相互の支え合い P11

ともえ
高砂共笑会

今も昔も「銭湯」は身近な社交場!
体操や脳トレで、身体も心も元気に P13

ふれあい銭湯
東京都公衆浴場業生活衛生
同業組合葛飾支部

30年以上の熱中症啓発活動や研究開発ノウハウを活か
した「熱中症対策アンバサダー®講座」を職員に実施 P15

大塚製薬株式会社
首都圏第一支店

ここは「みんなの居場所、みんなの食卓」
暖かい食事から子どもたちの未来を育てる P17

クーマ
Kuuma

親子で安心して過ごせる居場所「ひだまりひろば」
母子生活支援施設の専門性を活かし、子育て世帯の孤立を防ぐ P19

社会福祉法人 大龍会

大きな屋根の下から聞こえる、子どもたちの元気な笑い声
家庭的な環境で暮らしと成長を支える P21

社会福祉法人東京愛育苑
児童養護施設 東京愛育苑向島学園



思いきり
声を出せば
気持ちも若返る！

協働
**大人のバンドの生演奏で
歌える歌声喫茶が
大人気**

年に数回、「歌声喫茶」にバンドが参加する特別な日があります。これは、シニアのための活動団体である「葛飾アクティブ・COM (KAC)」との連携で実現したもの。生演奏と声を合わせる心地よさに、60人以上が集まる大人気のイベントです。



この協働についてのお問い合わせ

地域振興課 新小岩北地区センター
電話：03-3694-2781

開催場所・時間

西新小岩5-15-28 西新小岩五丁目町会会館

- ①折紙教室 (毎月第1木曜 14:00~16:00)
- ②レクダンス・輪踊り同好会 (毎月第2月曜 14:00~16:00)
- ③麻雀教室 (毎月第2・第4水曜 13:00~16:00)
- ④みんなで歌う 歌声喫茶 (毎月第2・第4金曜 14:00~16:00)
- ⑤相撲甚句・おもしろトークショーと脳トレ (毎月第3水曜 14:00~16:00)
- ⑥はつらつ健康体操 (毎月第3木曜 10:00~12:00)
- ⑦落語公演会 (毎月第3土曜 14:00~16:00)
- ⑧輪踊り同好会 (毎月第4月曜日 14:00~16:00)

※予約・会員登録不要。特別イベントもあり。会館で予定表を配布しています。

関連する主なSDGsゴール



主宰者 廣瀬 公雄さん

Interview

**民生委員としての活動から
はじまり、団体発足へ**

もともとは、区主催の認知症の方を対象にしたイベントを民生・児童委員としてお手伝いしていたんです。でも、もっと広く集える場所がないかということで、令和2年の9月に町会会館が完成しました。

せっかくだし何かイベントをやろう、と発足したのがこの団体。「無料で手ぶらで来て、とにかく2時間楽しんでいただく」というのが基本スタンスです。

**「元気があれば何でもできる」
を冒頭の合言葉に**

いつも「皆さん元気ですねー！」と呼びかけ皆さんが「オー！」と右手を上げて応える「西五元気あいさつ」から始まります。会うこと、話すこと、動くことが認知症予防に役立ちます。ここで仲良くなる人も多いので、1人でも気楽にお越しください。

年間延べ
約3000人が
参加！



西五みんな健康教室

体操から歌声喫茶、落語にマージャンまで！
シニアが無料で楽しめるイベントを毎月開催



**地域のシニアが
楽しみながら
交友できる場所に**

西新小岩五丁目町会会館から、なにやらにぎやかな声が聞こえてきます。そう、今日は「西五みんな健康教室」の日です。

手や頭をつかう「折り紙教室」「麻雀教室」や身体を動かす「レクダンス・輪踊り」「はつらつ健康体操」、声を出してスッキリの「歌声喫茶」「相撲甚句」などバラエティー豊かなイベントを月10回程度開催中。「お



**現在の参加者は
65歳〜92歳
区内シニアならOK**

主宰者の廣瀬さんを中心に、町会長や自治町会の役員がスタッフとなつて活動していますが、参加者は自治町会の方に限っていません。口コミによって区内に広がり、毎回30〜40人、令和6年度は延べ約3000人の方が参加されています。

むしろトークショー」や「落語公演会」でただ大笑いするのも、若返りの秘訣です。どの教室も無料で、気軽にお茶のみがてら参加できるのも魅力です。



ウィーン市フロリズドルフ区との友好からはじまった
笑顔と花、音楽があふれる柴又の新しいおまつり



地域の人による
世代を超えて
楽しめる国際交流

柴又小学校そばの「フロリズ花壇」が花いっぱいになる5月、フロリズ通りでは葛飾区とウィーン市フロリズドルフ区の国際交流イベント「柴又フロリズ通りフェスティバル」が開催されます。模擬店にはオーストリアのワインや民芸品のほか、葛飾区産の野菜・お菓子などの名産品が並びます。地元子どもたちの鼓



葛飾産の野菜を使ったグルメや、オーストリアワインの試飲も



人情豊かなまち、
川辺の風景に
共通点を感じて

笛隊やブラスバンド演奏、大道芸のパフォーマンスなど、国際交流が地域に根付いたユニークなおまつりです。第6回となる令和7年には、約3800人が訪れました。

昭和62年に友好都市提携を結んだ両区。当時のウィーン市長が飛行機の中で観た映画『男はつらいよ』に描かれている葛飾の風景や人情が、フロリズドルフ区と似ていると感銘を受けたことから、交流がスタートしました。



地域の力を
ひとつにして
支え合う運営体制

フェスティバルの運営は、実行委員会を中心に、自治町会や地元の企業、団体、個人の協力で成り立っています。近隣企業から借りた電源やテントなどを使ってJAYやPTAが出店、消防団が警備を担うなど、まさに地域「総がかり」のイベントなのです。

Interview

最初は手探りだったものの
ステージ出演希望者も増加

最初は各校20人程度だった子どもたちの演奏も、今では3校で120人規模に。野外で披露できる貴重な機会として、先生や保護者の方々からも喜ばれています。演奏や地元芸人によるパフォーマンスなども加わり、年々にぎやかなステージに。地元のグループから「自分たちも参加したい」という声もあがっています。

安全に気を配りながら
これからも続けていきたい

イベント当日は、フロリズ通り周辺の道路を通行止めに行っています。会場の拡大も検討されているものの、店舗数をこれ以上増やすのは難しいため、親子がより楽しめるものに内容を充実させていく予定。このイベントを通して、皆さんに葛飾区とフロリズドルフ区とのつながりを知ってもらえたら嬉しいですね。



実行委員長 齋藤 清一さん

この活動についてのお問い合わせ

文化国際課 電話：03-5670-2259

「第7回 柴又フロリズ通りフェスティバル」は令和8年5月に開催予定
日時詳細等は「広報かつしか」や区HPでお知らせするほか区内にポスター掲示・チラシ配布を予定

関連する主なSDGsゴール



こちらは柴又にある看板。一方でフロリズドルフ区には「かつしか通り」や「寅さん公園」があります！



古布を燃やすごみではなく、資源として活用
お買い物ついでにエコ活動！



区内にある
ライフ5店舗で
古布を回収

葛飾区では、毎年約2千トンの古布が燃やすごみとして焼却されています。これまでも、拠点回収や巡回回収で古布の資源化は行われていますが、さらに利便性を高めるため、スーパー「ライフ」に協力を求め、令和6年6月に協定を締結。区内5店舗で毎月1回、10時から16時まで回収トラックを配置して巡回回収を行っています。これによって令和6年度は9ヶ月で約14tの古布を回収。資源として役立つと同時に、燃やすごみの削減にもつながっています。



ライフの駐車場を
利用して
古布を直接回収

ライフでの古布回収は他の回収場所と比べて回収時間が長いのが特徴。回収日はライフの店内掲示などでお知らせされ、区民は、お買い物ついでにライフ駐車場などに駐車された回収トラックに古布を直接持ち寄ることができます。



2030年度までに
区民1人1日あたり
家庭ごみ425gに

葛飾区では、2030年度までに家庭ごみを区民1人1日あたり425gまで減量することを目標※にしています。燃やすごみとして処理されていた古布の回収もそのための有効な取組のひとつ。回収された古布は古着として再販売したり、車の内装の防音材やいすのクッションの中身、ウエスなどにリサイクルされます。



古布は古着やウエスなどに活用されます

※2019年度の区民1人1日あたりの現状値(495g)から70gの削減が目標

Interview

おかげさまで、お客様にも喜んでいただいています！

ライフでの自治体の古布回収は葛飾区が初めて。大阪や都内他地域では期間限定で回収イベントを実施しました。

始めた当初は「ライフで回収をしてくれるのはありがたい」という声を多くいただき、「まだあるから次も持ってくる」というお客様も。皆様、喜んでくださっていますよ。(谷口さん)

地域密着型のスーパーとして
これからもエコな取組を

ライフでは、自社工場で作る野菜くずや果物の皮を活用してバイオガス発電施設で発電する取組なども行っています。ペットボトルや紙パック、食品トレーの店頭回収も実施しており、古布も合わせてまちのエコな拠点としても認知されたいですね。(小川さん)

左から サステナビリティ推進部
小川 啓さん、谷口 真美さん



ライフオリジナルキャラクター
ララピー

この活動についてのお問い合わせ

リサイクル清掃課
電話：03-5654-8273

関連ホームページ



葛飾区HP
▶古布の資源回収を行っています



葛飾区HP
▶区内ライフ店舗で古布の回収を行います

お客様も
エコ活動に
参加してください

関連する主なSDGsゴール



共に笑顔で暮らすために、地域による
ゆるやかな見守りで相互の支え合い



高齢者を対象に
民生委員や町会が
協働して実施

高齢者を対象とした「ゆるやかな見守り活動」を展開している「高砂共笑会」。自治町会役員や民生・児童委員、地域の住民が協力しながら、「高砂共笑会だより」や「困った時の連絡先カード」を配布。日常的な声かけや安否確認を行うにつ、高齢者総合相談センターとも連携し、必要に応じて専門機関へつなぐ体制を整備しています。推進委員は10町会の会長や民生・児童委員からなる16名。見守り担当者は59名※で、希望する高齢者を見守っています。

※令和7年11月現在



地区に配置された社会福祉協議会の担当職員が活動に関する支援を行い、地域全体で「ふれあい」「支えあい」「助けあい」の関係づくりを目指しています。



ゆるやかとは？
日常のやり取りで
変化に気付くこと

「ゴミ出しなどで会った時にあいさつを交わす、スーパーで見かけたら変わりがないか様子を見るなどといったご近所付き合いの延長にある、程よい距離での見守りを続けています。」



広い高砂地区も
地域が連携して
ご近所の見守りを

葛飾区の中でも広い高砂地区。地区センターから遠い場所も多く、イベント以外で地域がつながるしくみが必要でした。そこで生まれたのが高砂共笑会の活動。高齢者には安心を感じてもらいながら、見守る側も無理なく活動できます。

Interview

見守り、見守られることで
“おたがいさま”の安心を

この活動は、単に孤独死を防ぐことを目的とするものではありません。見守る側も見守られる側も、双方が恩恵を受け合う関係を築くことを重視しています。お互いに気にかけることで、生きがいと将来の安心につなげていけると思っています。そうやって、徐々に地域全体のつながりを強化していきたいですね。

誰がやってるか分からない
そんな活動にはしたくない

高砂共笑会では、交流会やアンケートなど、みなさんの意見を検討する場を必ず設けています。顔が見える推進委員会であることを大切に「全ての人が共に笑顔で暮らせるしくみをみんなで育てていく」。これが理念です。



左から
民生・児童委員 橋本 文枝さん、会長 石戸 和夫さん、
民生・児童委員 高橋 令子さん

自治町会の掲示板にも
ポスターを貼っています



見守り活動の様子

この活動についてのお問い合わせ

福祉管理課 電話：03-5654-8242

高砂地区で見守りを希望される方（70歳以上）はお住まいの自治町会の代表者、地域の民生・児童委員、高齢者総合相談センター高砂にご連絡ください。
高齢者総合相談センター：03-5889-8600

関連する主なSDGsゴール



グループでのレクリエーションでは、自然に会話が生まれます



終わった後の
60分が楽しみ!



この活動についてのお問い合わせ

地域包括ケア担当課
電話：03-5698-6202

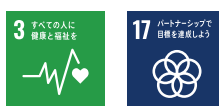
開催場所・時間

喜久の湯(東立石) / アクアガーデン栄湯(東四つ木) / 富士の湯(亀有) / さつき湯(東堀切) / 栄湯(高砂) / 富の湯(立石) / アクアドルフィンランド(立石) / 寿湯(東四つ木) / 末広湯(宝町)



開催日時・住所等は
葛飾区HP
▶ふれあい銭湯

関連する主なSDGsゴール



ふれあい銭湯
東京都公衆浴場業生活衛生同業組合葛飾支部



今も昔も「銭湯」は身近な社交場！
体操や脳トレで、身体も心も元気に



この日は21名、
参加者の最高齢は
なんと94歳！

銭湯という場所のせいか、会場はとても和やか。グループで協力し合う脳トレもあり、一人で参加しても顔見知りができるそう。「ふれあい銭湯に参加してから、以前よりも自分の健康に気をつけるようになった」という声もあがっていました。

Interview

**銭湯で働く親の背中を
小さい頃から見てきました**

祖父が創業した「さつき湯」。親が働く背中を見て、いつかは自分もここを継ぐのだと意識していました。とはいえ、子どもの頃はお客さんに「一緒に入るぞ」など声をかけられて逃げた思い出も。

父が始めた「ふれあい銭湯」もぜひ継続していきたいと考えています。高齢者の健康を支えるという面で地域に貢献できるのは、すごく光栄なことですね。

**区は告知やプログラム立案、
銭湯は受付や設営を担当**

銭湯では会場の提供のほか、設営準備、番台での受付などを行っています。葛飾区には告知やプログラムの立案、講師の方の手配をしていただきます。それぞれ役割分担しながら、スムーズに進めることができます。

さつき湯3代目
石倉 大地さん



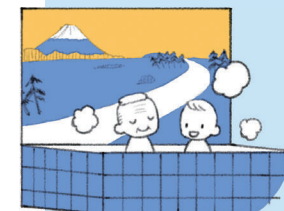
月に1回
区内9カ所の
銭湯で開催

銭湯といえば、江戸時代から庶民の社交場。この銭湯のスペースを使って開催されているのが「ふれあい銭湯」です。区内9カ所の銭湯で行われている高齢者向けのレクリエーションで、一部の銭湯では参加後に無料で入浴ができます。この日の会場は東堀切の「さつき湯」。番台で受付後、脱衣所で講師の動きにならって体操がスタート。終わった後の銭湯を楽しみに身体を動かします。始まって20年になるこの取組、令和6年度は延べ953人が参加しました。



ストレッチのほか
脳トレや歌など
多彩なプログラム

高齢者の引きこもりを防止するために始まった「ふれあい銭湯」。プログラムは、椅子に座ったまま無理なくできるストレッチのほか、区歌に合わせて体操をしたり、脳トレやボランティア団体による振り込み詐欺防止の寸劇鑑賞など多彩です。



30年以上の熱中症啓発活動や研究開発ノウハウを活かした「熱中症対策アンバサダー」® 講座」を職員に実施



WEB講座のほか
熱中症対策チラシ、
飲料を無償で提供

夏の酷暑が深刻さを増し、熱中症リスクが高まっています。これまで自社の商品開発で水分補給や健康管理についての知識を蓄積してきた大塚製薬(株)は、それらを地域に還元するための取組をスタート。葛飾区と「区民の健康増進に関する連携協定」を締結しました。

区職員に向けたWEB講座「熱中症対策アンバサダー」® 講座」実施のほか、一般・子ども・高齢者向けの啓発チラシを作成。熱中症対策飲料とともに区のイベント等で無償で配布しています。



合計70名が
アンバサダーに
認定

WEB講座は、熱中症の基礎知識から近年の傾向、環境省の取組などで構成されており、確認テスト合格後に修了証が発行されます。これまでに職員合計70名がテストに合格し、熱中症対策アンバサダー® に認定されました。



幅広い年齢層に
アプローチする
3種のチラシ

チラシは熱中症のしくみや対策法をイラストとふりがな付きで解説した子ども用と、加齢による身体の変化に合わせた熱中症対策の方法を紹介した高齢者用、広い層に向けた一般用の3種類。開催イベントに合わせて配布しています。

Interview

熱中症対策も、時代に
合わせて進化しています

地球温暖化による影響で平均気温が上昇するなか、熱中症対策も進化しているのをご存知でしょうか？例えばあらかじめ身体を冷やしておく「プレクーリング」という方法や、シャワーベットの状にすることでより効率よく冷やす「アイススラリ」という凍らせて飲める飲料。これからも最新の情報や知識で地域の熱中症対策に貢献したいと考えています。

(中田さん)



左から 葛飾区健康部地域保健課 加藤 謙一さん
大塚製薬(株)首都圏第一支店 中田 英彦さん

区の体操教室等で
熱中症対策飲料と
チラシを配布



高齢者向け体操
教室の様子。汗
をかいたら水分
補給！



熱中症対策アンバサダー®
私も受講していますよ！

この活動によって、熱中症対策の普及啓発をがん検診などでも実施できるようになりました。熱中症対策アンバサダー® によつて職員の知識も深まっています。今後も社会全体で「熱中症ゼロ」を目指していきます！

(加藤さん)

この活動についてのお問い合わせ

地域保健課
電話：03-3602-1231

関連ホームページ

大塚製薬 地域の方々と創る「健康」
～大塚だからできること～
<https://www.otsuka.co.jp/sustainability/health/working-with-communitites/>

関連する主なSDGsゴール



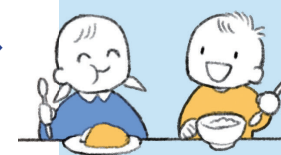
ここは「みんなの居場所、みんなの食卓」
暖かい食事から子どもたちの未来を育てる



ボランティアと
寄付に支えられ
食事と居場所を提供



遠足に夏祭り、
ハロウィンにXmas
季節ごとに楽しみが



人生の大切な事を
楽しく学ぶ
「みとちゃん教室」

新しくはじまった「みとちゃん教室」は、そろばんや投資の基礎をゲーム感覚で学べる教室。子どもたちが興味をもてるよう工夫しています。薬剤師による薬の話もあり、オーバードーズの危険性を伝えるなど、命を守る教育にもつながっています。

Interview

最初は手探りだった活動も
徐々に人の輪が広がって

ボランティアの中には、出勤前に朝食のお手伝いに来てくださったり、歩いていらっしゃる80代の方も。SNSや薬局の掲示を見ての寄付や食材・お弁当の支援も本当に助かっています。人の輪が広がっているのを感じますね。みんながムリなく続けられるしくみを作って、もっと朝ごはんの回数を増やせたらいいなと思います。

Kuumaの活動を通じて
伝えたいこと

お腹も心も満たされて、ホッとできる場所を提供したい。それが私たちの願いです。食べること、学ぶこと、遊ぶこと、すべてが子どもたちの未来につながると考えています。これからも、地域と一緒にこの活動を盛り上げていきたいですね。



左から 代表 今西 利香さん、
石渡 麻里子さん



みとちゃん教室



みとちゃんち

食事は予約制で
子どもは無料、
大人は100円



この活動についてのお問い合わせ

子育て政策課
電話：03-5654-8578

Kuuma
HP : <https://kuumakatsushika01.wixsite.com/mitochankuuma>
Instagram : <https://www.instagram.com/kuumakatsushika/>
LINE :



関連する主なSDGsゴール



親子で安心して過ごせる居場所「ひだまりひろば」
母子生活支援施設の専門性を活かし、子育て世帯の孤立を防ぐ



活動内容

地域の親子が
安心して過ごせる
居場所を運営

（福）大龍会が運営する「ひだまりひろば」は、東金町の「ふれあいサロンあきみつ」を会場とした親子の居場所。区の相談機関に足を運ぶのはハードルが高いと感じている子育て家庭に寄り添うために無料でひらかれています。

ここでの過ごし方は、親が育児の合間にひと息ついたり、子どもが職員と宿題をしたり、時



この日は親子&職員でゲーム大会！



参加者

先着5組（10名）
公式LINEから
予約できる

「ひだまりひろば」の開催は月2回。保育士や社会福祉士、精神保健福祉士などの有資格者が対応し、専門性を活かした支援を行います。SNSや地域情報ポータルサイトによる告知を通して、令和6年度は延べ29名が参加しました。



目標

情報弱者に
なりがちな家庭に
支援の選択肢を

居場所づくりと合わせて目標としているのが、困窮世帯やひとり親家庭などサポートを必要としている方々に対し「情報を届ける」こと。行政の支援体制や助成金制度のようについていると役立つ情報をお伝えし、ご自身で支援を取捨選択する機会を提供したいと考えています。

Interview

戦後の母子支援から
地域福祉へと展開

大龍会は、金蓮院の住職・鈴木大龍和尚が戦後の荒廃した環境で育つ子どもたちを心配し、境内の一角に保育園を開設したことから始まりました。その後、戦争による母子家庭への支援などを経て、現在も保育園や児童福祉施設を運営しています。これらの事業で培った保護者支援のノウハウを「ひだまりひろば」で地域に還元したいと考えています。

職員と過ごす時間を通して
子どもの社会性を育む場に

「ひだまりひろば」は、集団に適応しづらい子どもが一緒に遊びながら友達づくり方を身につけるソーシャルスキルトレーニングの場としての一面もあります。SNSでの相談対応や広報など、今後も時代のニーズに合わせた支援を続けていきたいです。



左から 素宮 久美子さん、
施設長 樽野 智哉さん、
佐々木 早紀子さん

「ひだまりひろば」会場の
「ふれあいサロンあきみつ」は
赤いのぼりが目印！



この活動についてのお問い合わせ

子育て応援課
電話：03-5654-8276

社会福祉法人 大龍会
電話：03-6231-3180
<https://dairyukai.jp/>

関連する主なSDGsゴール



大きな屋根の下から聞こえる、子どもたちの元気な笑い声
家庭的な環境で暮らしと成長を支える



活動内容
子どもたちが
心身共に健康に
過ごせる取組

向島学園は、様々な事情で家庭での生活が難しい2歳から12歳までの子どもたちが暮らし児童養護施設です。子どもたちはここで生活しながら、地域の幼稚園や公立小学校に通園・通学しています。

大切にしているのは、衣食住・教育・健康・行事。調理師による手作りの食事やおやつ、心理士による定期的なカウンセリング、同敷地内にある介護老人保健施設※入所者や地域の方との交流イベントなど、子どもたちの心身の安定と成長を支える取組が行われています。

※東京愛育苑ケアレジデンス



バランスの取れた
手作りの食事

沿革
戦後の混乱期から
子どもの居場所を
守り続ける

昭和23年、聴覚障害児や戦災孤児の支援から始まった向島学園は、時代の変化に応じて保育園（墨田区）や高齢者施設も併設する複合福祉拠点へと発展。令和6年には大きな屋根が特徴の新園舎が完成し、より家庭的で快適な環境を整えました。



ねらい
子ども一人ひとりの
発達にそった
支援

向島学園としての大きな目標は、家族調整、家族再統合、里親委託。生活習慣の自立や心の安定を支えつつ、保護者との交流を通して家族調整を行います。日常の成長も丁寧に共有し、心理士による家族療法で保護者との関係を築きます。

Interview

健全で豊かな感性を
育む場所でありたい

子どもたちは、3LDKのユニットルームに5~6人で生活します。施設内には保護者代わりのスタッフが24時間体制で常駐、児童精神科医も配置し心身両面から支援をしています。サッカーやピアノなどの習い事に通い、多くの経験を通して“生きる力”を養っています。

「いつでも遊びにおいで」と
子どもたちには伝えています

私たちが目指しているのは、子どもたちが実家のように思える場所。退所後も結婚や出産の報告をしに来てくれる子どもも多く、先日は25年ぶりに海外から来てくれた子ども！みんなに「これからもずっと応援してるよ」と伝えています。

左から 施設長 富田 富士子さん、
個別対応職員 鈴木 佐智子さん



夏祭りや
バーベキューなど、
季節のイベントも
たくさん！



清潔な部屋で
過ごし、片付けが
身につく住環境

この活動についてのお問い合わせ

児童相談課
電話：03-5698-0303
児童養護施設 東京愛育苑向島学園
電話：03-3608-7070（平日9時~17時）
メール：mukojima7070@mirror.ocn.ne.jp
HP：https://www.aiikuen-mg.com/

関連する主なSDGsゴール



立石駅と四ツ木駅を中心に運行中！
誰でも無料で乗れる「地域の足」



時速20km未未満で
小回りが利く
エコな電気自動車

グリスロとは「グリーンスローモビリティ」の略。毎週火・金曜日は立石駅、月・土曜日は四ツ木駅を中心にしたコースを運行している乗客定員6名の電気自動車です。子どもから大人まで誰でも無料で利用することができ、ルート上であれば好きなところで降りることがができます。荷物の上げ下ろしや高齢の方の乗車も補助員がお手伝いしてくれるので安心。バス停が遠い方や、タクシーの利用には近すぎる場所への移動などに、「地域の足」として活躍しています。



外出するのに
困っているという
地域の声を受けて

「移動手段がなく、外出が困難」という高齢者の声が自治町会に寄せられたことから、この問題には連合町会として取り組むことで意見が一致。区に要請し車両は区が、運行は地域が担うことが決まり、協議会が発足。令和7年4月から本格運行されています。



地元の教習所で
安全講習を行い
小学校で授業も

地区内にある平和橋自動車教習所の協力を得て、グリスロのドライバーは同教習所で安全講習会を受講します。また、川端小学校では6年生社会科の授業でグリスロが取り上げられ、児童向けの試乗会も行われるなど、地域のつながりが広がっています。

Interview

外出が増えることで
高齢者の健康長寿に

葛飾区は川が多いため、電車もバスも走っていない地域が結構多いんです。グリスロを利用することで病院への通院や買い物などの外出が増え、高齢者の健康長寿につながればと考えています。利用しやすいよう、ルートや運行時間も検証を重ねてきました。おかげさまで現在、月300名以上の方にご利用いただいています。
(堀越会長)

運行は運転手

と補助員の2人体制。狭い道や一方通行も多いですが、今のところ無事故無違反です。利用者も増えて「助かりました」と声をかけていただくこともあります。とても励みになりますね。(ドライバー 木内さん、室伏さん、梶さん)



上段左から 副会長 中澤 英一さん、会長 堀越 克夫さん、木内 弘さん、室伏 秀昭さん、梶 和永さん、事務局 大津山 恵さん

ドライバーは
教習所で
安全講習を受講



授業で
グリスロ試乗会。
小学生にも
大人気！



一方通行や狭い道も
安全運転・定時運行で

この活動についてのお問い合わせ

交通政策課 電話：03-5654-8397

東立石グリスロ運営協議会 電話：070-1331-9646

※運行日(月・火・金・土)のみ受付

運行日・ルート・
ダイヤはこちら



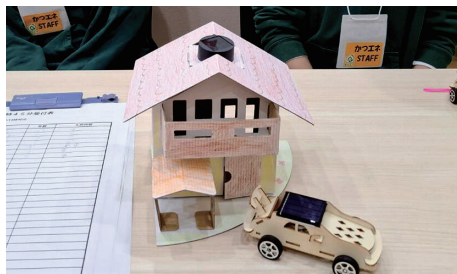
CHECK!

関連する主なSDGsゴール



この目印が
ある場所が
乗車ポイント





この活動についてのお問い合わせ

建築課
電話：03-5654-8357

かつエネ総合サイト
<https://katsuene.com/>

関連する主なSDGsゴール



左から (株)トーヨー富士工 榎本 康雄さん、(株)ナカムラ建工 中村 靖雄さん

かつしか省エネ再エネ健康住宅普及促進連絡会



葛飾区の住宅を快適で安心、健康的な住まいに！
体験型イベントやセミナーで省エネ健康住宅の普及を目指す



親子で学ぶ断熱体験
工作や講演で
楽しく知る省エネ

令和7年11月には初の体験型イベントを開催。ソーラーカー工作や断熱材料の比較体験、ワイズラリーなどを通じて、子どもから大人まで楽しみながら学べる内容に。大学教授による講演、専門家による住まいの相談会などが行われました。

Interview

助成金などの周知もしつつ
メリットを伝えたい

建物の断熱性と気密性を上げることで夏は涼しく冬はあたたかい、つまり光熱費が抑えられて快適とイイことだらけの「かつエネ基準」の家。もちろんリフォームでも十分実現が可能です。ネックとなるのが工事費用ですが、国や自治体の助成金や税制優遇もあります。住宅の性能だけでなく、これらの情報も同時に伝えていく必要があると考えています。

効果の可視化や
住んだ人の声を大切に

断熱や再エネの重要性は、数字や制度だけでは伝わりにくいもの。今後は、効果を可視化する評価シートの試作や、実際に住んでいる人の話を聞く事例共有も進めたいですね。様々な角度で興味を持ってもらうための工夫を続けます。



区内の事業者と
連携し、住宅から
地球温暖化を防止

令和7年4月の「住宅の省エネ基準の義務化」を受けて、葛飾区内の建築士や施工業者、区の職員が集まり発足したのが「かつしか省エネ再エネ健康住宅普及促進連絡会」通称「かつエネ」です。かつエネでは省エネ・再エネ・健康住宅の普及を目指し、定例会を通して情報を共有。脱炭素チャレンジカップへのエントリーのほか区民向けのイベント、事業者向け勉強会などを開催。2030年の国の目標であるZEH*を上回る独自の「かつエネ基準」を設け、周知をはかります。



脱炭素
チャレンジカップ
奨励賞を受賞



定例会は月一回以上開催



授賞式のひとつコマ

「脱炭素チャレンジカップ」は、CO₂排出実質ゼロを目指す学校、企業、自治体などの優れた地球温暖化防止活動を表彰する全国大会。令和6年度はかつエネの取組が、初めてのエントリーで奨励賞を受賞。令和8年度はグランプリを目指しています。

*ZEH (ゼッチ) …ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス。エネルギー収支が正味0もしくはマイナスになる住宅のこと



子どもたちの努力と健康を祝福！ 区内の小学校6年間無欠席児童を表彰



葛飾区には3つのライオンズクラブがあり、それぞれ違う奉仕活動をしています



対象児童の調査や招待状配付など 教育委員会と協働

教育委員会と密に連携し、学校ごとに対象児童の出欠確認や招待状の配付なども協働で行います。ライオンズクラブでは、会場準備や当日の進行、賞状・記念品の選定と手配などを担っています。

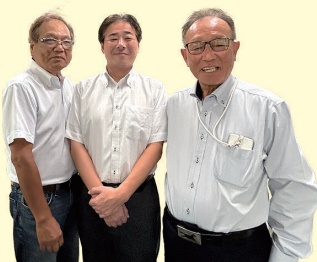
Interview

地域の子どもたちの努力と健康を讃える場に

この表彰は、子どもたちの努力と健康をお祝いする貴重な場です。6年間無欠席という成果は、本人だけでなく家族の支えもあってこそ。保護者からも、出欠のハガキなどで「私も昔、表彰されました」とメッセージをいただくことがあります。長く続けてきたからこそ、つながる絆を感じますね。

奉仕活動を通じて 青少年育成につなげたい

ライオンズクラブでは、他にも献血活動やまちの清掃など様々な奉仕活動を行っています。近年では、葛飾区内の小・中学校で薬物乱用防止教室を開催。これらの活動を通じて出会った子どもたちが将来、社会で活躍し、ライオンズクラブの仲間になってくれたらと願っています。



左から 稲葉 常治さん、
会長 野村 耕嗣さん、谷田 晴彦さん

この活動についてのお問い合わせ

教育総務課
電話：03-5654-8447

東京葛飾東ライオンズクラブ
<http://katsushika-e-lc.info/>

関連する主なSDGsゴール



6年間無欠席の 児童を対象に 記念品と賞状を

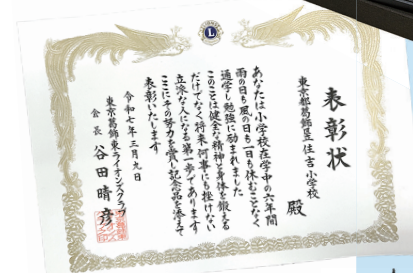
東京葛飾東ライオンズクラブでは、葛飾区内の小学6年生のうち、6年間無欠席だった児童を対象に表彰式を行っています。表彰式は毎年3月・第2日曜日にかつしかシンフォニーヒルズで開催。区教育委員会と連携して対象児童に賞状と記念品を贈呈しています。

毎年少しずつ改良されてきた記念品は、現在は高級ボールペン。例年100名前後の児童が対象となり、保護者とともに表彰式に参加。子どもたちの達成感と自信を育てる良い機会となっています。



昭和46年に開始 地域の恒例行事として 55回目を迎える

昭和46年に始まったこの表彰は、当初教育委員会や学校が主催していたものをライオンズクラブが引き継ぎ、地域の恒例行事として定着。コロナ禍ではメンバーが手分けして表彰状を学校へ届けるなど、状況に応じて柔軟に実施されてきました。



記念品のボールペンは、年ごとに色を決めています



伝統文化に触れることで、子どもたちの豊かな心を育む！
区内の小学6年生の児童に狂言教室を実施



活動内容

伝統芸能である
狂言を無料で
鑑賞する機会を

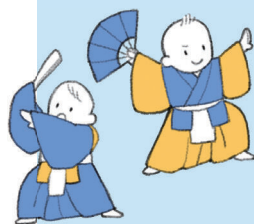
葛飾区立小学校に通う6年生は毎年6月頃、体験学習の一環として狂言を鑑賞します。これは、東京亀有ライオンズクラブと区教育委員会が共催しているもの。ライオンズクラブでは、当日の司会進行をはじめ、演目のあらすじや解説付きのしおり作成なども担っています。ほとんどの小学生が狂言を観るのが初めてという中、はじめに狂言の成り立ちや独特の表現・発声などの基礎知識をレクチャー。ユーモアあふれる物語に子どもたちも毎回、引きこまれています。



沿革

30年前に始まり
親子2世代で
鑑賞した区民も

狂言教室が始まったのは30年前。「伝統文化に触れることで、子どもたちにより豊かな心を育ててほしい」との思いで、当時の会長がボランティアでスタート。以後、子どもの貴重な体験機会として、区内の小学校に定着しています。



TOPIC

小学生の反応は？
「興味湧いた」
の聲がたくさん！

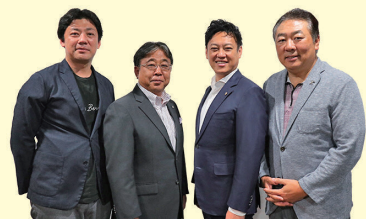
「狂言って何？」と最初は思ったのですが観てみると面白くて、こんなコトがあったんだ、と思いました」とは、鑑賞後のお手紙から。声の迫力や演技の素晴らしさ、やり取りの楽しさに触れ「また観てみたい」の聲が多くあがっていました。

Interview

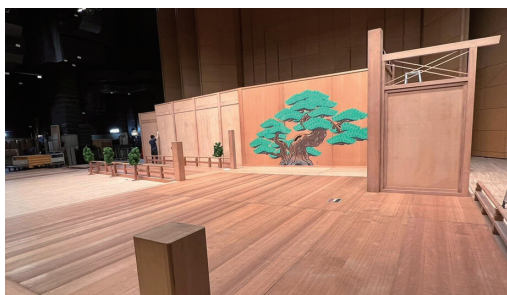
伝統文化の理解を通して、
将来の国際人を育てる

狂言は600年も続いてきた古典芸能ですが、もとは庶民のお笑い。初めて鑑賞する子どもたちも楽しんでくれています。今の小学生が成人する頃には、日本はさらに国際化が進んでいるでしょう。日本の伝統や文化を学ぶことを通して、他国の文化も尊重する。そんな相互理解の精神を備えた国際人に育ってくださることを期待しています。

私たちは狂言の他にも、東金町中学校の農園部に道具を寄付して一緒に農作業をしたり、収穫した作物を子ども食堂に運んだりといった活動もしています。奉仕活動を通して、より良いまちにしていこうという基本理念なんです。



左から 遠藤 和夫さん、竹内 豪さん、
会長 遠藤 隆浩さん、幹事 田口 克巳さん



当日の司会進行も
やっています。

この活動についてのお問い合わせ

教育指導課
電話：03-5654-8573

東京亀有ライオンズクラブFacebook
https://www.facebook.com/kameari.lions/?locale=ja_JP

関連する主なSDGsゴール





2025コスモス大会の様子



左から 副理事長 岩矢 佳子さん、
会長 大森 通安さん、
理事長 島田 末子さん

この活動についてのお問い合わせ

生涯スポーツ課
電話：03-3691-7111

開催場所・時間

大会などのお知らせは「広報かつしか」で

関連する主なSDGsゴール



参加者
バレーが好きなら
初心者でもOK!
80歳以上の選手も

ほとんどのチームでバレー経験は問わず、「学生時代に部活や体育の授業でやって以来」という人や、未経験から始める人も多数。年齢の上限はなく、最年長選手はなんと84歳！皆さん励まし合いながら練習と試合を楽しんでいます。

Interview!

**チームでボールをつなぐ
楽しさを知ってほしい!**

細かいルールはあるものの、基本は自陣でボールを落とさないよう、相手側のコートに入れて返す、それがバレーボール。慣れてくるとテクニックも身につけて、どんどん面白くなっていきます。チームでボールをつなぐから、一人だけが上手でもダメで、体力があるから有利ということもありません。無理せず細く長く続けて、一生の生きがいにしてほしいですね。(島田理事長)

**葛飾区のバレーボールを
一緒に盛り上げましょう!**

大会の準備から運営のほか、区主催のスポーツイベントでも運営委員として協力しています。選手としてはもちろん、「大好きなバレーボールにもっと関わりたい」という気持ちで運営側に回っていただくのも大歓迎ですよ！(大森会長)



活動内容

**教室の開催や
大会の運営など
普及に取り組み**

スポーツが盛んな葛飾区。バレーボールも人気競技のひとつで、子どもから大人まで多様なチームが活動しています。その主体となるバレーボール連盟では、著名な講師を招聘したバレーボール教室や指導者講習、区民体育大会などを開催・運営し、「誰もが生涯楽しめるスポーツ」としてのバレーボールの普及に取り組んでいます。



沿革



**昭和23年に発足
区のスポーツ振興に
80年近く貢献**

同連盟の設立は昭和23年。都内の企業チームを中心にバレーボールの地区大会が行われるようになり、大会の運営をきっかけに発足しました。ママさんバレーの誕生やコロナ禍など様々な社会情勢の変化を経て、80年近く活動を続けてきました。

登録チームはクラブチームやPTAなどを合わせて現在約80チーム。区内体育施設や小・中学校の体育館で定期的に練習しています。

「いつでも」「誰でも」「いつまでも」楽しめる生涯スポーツ
バレーボールの魅力伝えるため昭和23年から活動

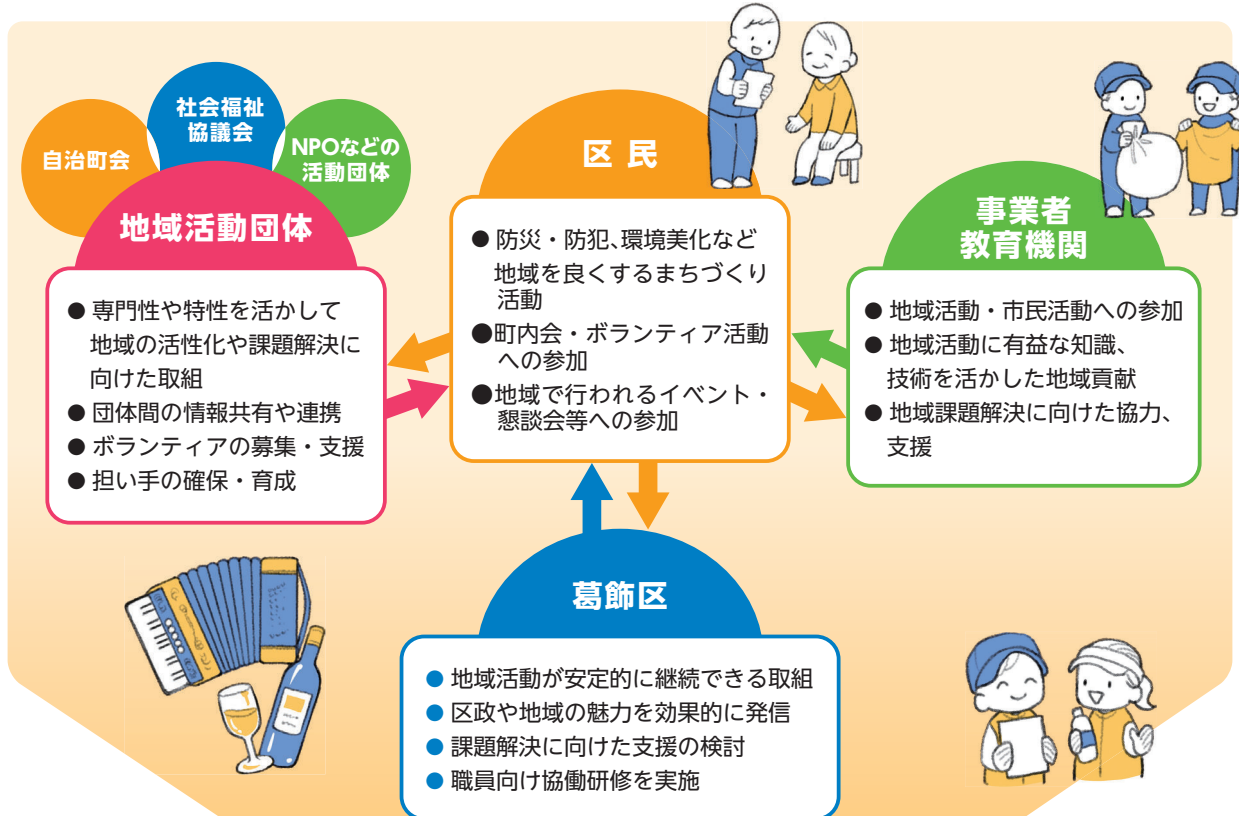


3 協働の活動を支える

地域の協働の活動が安定的かつ持続的に発展できるように、それぞれの活動者が抱えている課題を把握し、活動者の特性や事業の目的・内容等を考慮しながら、必要な支援を進めます。

推進に向けた主な取組

- 各種助成・補助金事業
(葛飾区地域活動団体事業費助成金 など)
- 葛飾みんなの協働サイトの運営(再掲)
- ボランティア・地域貢献活動センターでの各種相談・セミナーなど(葛飾区社会福祉協議会が実施)



地域に集うさまざまな主体が協働して
地域社会をより良くする取組

地域社会が持続的に発展

お問い合わせ 政策企画課(協働推進担当)

電話 03-5654-8177 FAX 03-5698-1501 メール KYOUDOU@city.katsushika.lg.jp

葛飾らしい協働の輪を広げていくために

葛飾区では、区と活動者との連携に限らず、さまざまな皆様が、「地域社会を良くしよう」という思いを持って、お互いを理解・尊重しながら行う活動の全てを「協働」と位置付けています。こうした「地域社会を良くしよう」という思いを持って「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現していくことが「葛飾らしい協働」です。区では、葛飾区基本計画に「協働推進プロジェクト」を掲げ、協働の推進に向けた環境づくりを進めています。

葛飾区基本計画「協働推進プロジェクト」の概要

1 協働意識・郷土意識を醸成する

区の実践や地域で行われている活動など区政や地域の魅力を効果的に発信し、地域への思いを育み、協働意識を醸成しています。また、協議会、意見交換会、勉強会、交流会などのさまざまな機会を通じて、地域の課題を共有しながら、地域の魅力を高めるための活動につなげています。

推進に向けた主な取組

- 映像の制作などによる協働事例の紹介
- 職員出前講座の実施、下町川柳コンクールの実施
- 「協働のまち葛飾」(広報かつしか)の連載
- 各種協議会・意見交換会・勉強会・交流会の開催、計画等策定への参画 など

2 協働を広げる・深める

1 協働への「きっかけ」をつくる
地域活動に興味がある方や地域活動に有益な知識・技術を持つ方が、協働の活動をはじめめるための「きっかけ」づくりを進めています。

3 つながりを広げる・深める
協働の活動者同士が情報共有や連携し合える環境づくりを進めてつながりを広げ、そのつながりを深めながら協働の取組を活発化させています。

2 協働の可能性を広げる
多様な主体を協働の取組につなげて、さまざまな分野で新たな取組を生み出し、協働の可能性を広げています。

推進に向けた主な取組

- 葛飾みんなの協働サイトの運営
- 協働による事業の実施
(共催・実行委員会・事業協力・後援等)
- ボランティア・地域貢献活動センターの運営
(葛飾区社会福祉協議会による) など

葛飾みんなの協働サイト

区内で地域貢献活動をしている自治町会や区民活動団体、NPO、事業者などの皆様が、活動内容やイベント、ボランティア募集などの情報をタイムリーに紹介することができる「葛飾みんなの協働サイト(以下「協働サイト」という。)」を運営しています!



葛飾みんなの協働サイト 

協働サイトとは?



- フェイスブックのグループ機能を使い、会員同士の投稿を共有(シェア)*する場です。
- 会員は、ご自身のフェイスブックサイトにおいて投稿し、その中から、協働サイトで紹介したい記事を「シェア機能」を使って共有することで、投稿を広く周知することができます。
- 他の団体等の外部向け記事もご自身のページに表示されるようになるので、区のさまざまな協働の団体等の活動を知ることができるようになります。

*「シェア」とは・・・自分や他の人が投稿した内容を、自分以外の人(友達やその他多数)に広めること。また、「シェア」する際にコメントを入れて投稿することもできる。

協働サイトへシェアできる内容

活動紹介やイベントの開催、ボランティア募集など、基本的に団体等の活動に関するものであればシェアできます。記事をシェアして広く周知・PRしましょう!

*協働サイトへシェアできないものや禁止事項については、利用規約でご確認ください。

新規会員団体募集中!

協働サイトに登録を希望する場合は、区公式ホームページから申請書をダウンロードし、必要な書類を添えて政策企画課(協働推進担当)までご提出ください。

詳細は、区公式ホームページをご覧ください。



第9回 令和7年度 テーマ▶ かつしかの未来

一般の部

特別賞 縁あって住んだかつしか 夢無限 おばあさん	葛飾川柳連盟会長賞 多様性受けて葛飾色になる 林 昌代	区長賞 未来ある子どもを育てる 共助の輪 ゆっけ
---	--	--

中学生の部

葛飾川柳連盟会長賞 葛飾区緑たくさん情豊か 水曜日	教育長賞 この街は心が開く魔法ドア 公表用ペンネーム募集中	区長賞 葛飾に描く未来の キャンパス図 彼ノ矢 美空
--	--	--

小学生の部

葛飾川柳連盟会長賞 みらいもねはながいっぱい ふふふのふ ニコちゃん	教育長賞 だれにでもみらい花さく かつしか区 前田 遥香	区長賞 シュートして夢を未来へ つなぐ街 アッキー
--	--	---

下町川柳 コンクール

協働のまち葛飾

みんながことばの力で、つながり、助け合い、葛飾愛を深めていく! そうした思いを込めて、川柳コンクールを行っています。葛飾の魅力が詰まった作品を紹介しましょう!

お知らせ

第10回(令和8年度)の応募に関する情報は、令和8年夏ごろ公表予定です。

過去の入賞作品につきましては、区公式ホームページをご覧ください。



葛飾区 川柳 

動画で見る! 葛飾区の協働



YouTubeやDVDで
ご覧いただけます

地域や事業者の皆様にも協働による取組を広く知っていただくため、活動の一部を映像にまとめました。



DVDは無償で貸出ししています

貸出しを希望される方は、政策企画課(協働推進担当)までお問い合わせください。

区公式ホームページでチェック!

葛飾区 協働映像 検索



令和7年度の
掲載団体
掲載順

- 1 東武バスセントラル
- 2 応急対策連絡会 避難所部会
- 3 金町みらい協議会
- 4 葛飾区産業フェア運営委員会
- 5 葛飾区社会福祉協議会

葛飾協働まちづくり表彰



区内において、地域をより良くし、区民福祉の向上に寄与する活動に尽力されている方や団体、事業者の皆様のご功績を称えて、葛飾協働まちづくり表彰を行っています。

区公式ホームページでも紹介しています

葛飾区 協働表彰 検索



令和6年度の受表彰団体等 (50音順・敬称略)

団体・グループ等

- あったかキッチン水元
- 一般社団法人 葛飾区医師会 災害対策委員会
- 葛飾区環境衛生協会
- 葛飾区少年軟式野球連盟
- 葛飾区少林寺拳法連盟
- 葛飾区ソフトボール連盟
- 葛飾区テニス協会
- 葛飾区なぎなた連盟

- 葛飾区認定製品販売会 (かつしかミライテラス)
- 一般社団法人 葛飾区薬剤師会 災害対策委員会
- 葛飾区緑化推進協力員会
- 葛飾吹奏楽団 ジュニアバンド
- 葛飾清掃協力会
- 葛飾東清掃協力会
- 葛飾昔ばなし研究会
- きらめきの街・新小岩北地域実行委員会
- きらめきの街・新小岩南地域実行委員会

- 柴又フロリズ通りフェスティバル実行委員会
 - 新小岩文化祭実行委員会
 - 東京ゲーム交流会
 - 新宿地域事業推進連絡会
 - 脳力トレーニング ボランティアリーダー及び自主グループ
 - フラワーメリーゴーランド協議会
 - 平日の居場所
- 事業者
- 東京愛育苑向島学園

葛飾区職員出前講座

「協働」を進めるためには、まず区の現状や取組などの情報を共有することが大切です。そこで、区職員が皆様の地域に伺い、区の現状や取組についてお話しする「職員出前講座」を実施しています。



対象 区内在住・在勤・在学の10名以上の団体・グループ

日時 午前9時～午後9時の2時間以内(年末年始を除く)

会場 区内のご希望の場所(会場については、申込団体・グループでご用意ください。)

申込書配布 区公式ホームページ・区民事務所・地区センター・図書館など



区公式ホームページでも紹介しています。

葛飾区 出前講座 検索



申込方法

職員出前講座
オンライン
申請フォーム



1 講座を選ぶ

講座一覧よりご希望の講座をお選びください。
※同時に2つ以上の講座の申込みも可能です。

2 講座の担当課に連絡する

受講希望日の20日前までに、講座の担当課にご連絡ください。なお、日時調整が必要な場合がありますので受講希望日を3日程度お伝えください。
※オンライン申請フォームからも申し込みます。

3 申し込む

受講希望日を確認後、講座の担当課へ所定の申込書をご提出ください。
※オンライン申請フォームからの申込みの場合は、申込書の提出は不要です。

4 出前講座実施

区職員が会場へ伺い、お話しします。

※この講座は、政治・宗教・営利活動を目的とした催しには利用できません。また、区に対する陳情などをお受けする目的で行うものではありませんので、ご理解ください。

オンライン版職員出前講座の配信について

時間や場所にとらわれずに受講できるオンライン版の職員出前講座を区公式YouTubeで配信しています。ぜひ、ご覧ください!

区公式YouTube



「幸せ かつしか」を目指して

区では、区の持続可能な発展を実現するため、令和5年3月に「葛飾区SDGs推進計画」を策定し、その中の「SDGs かつしか未来プロジェクト」に関連する具体的な事業を葛飾区中期実施計画に位置付け、SDGsの取組の推進や普及・理解促進を図っています。今後も、区民・事業者等の連携・協働を強化し、「持続可能な『幸せ かつしか』」の実現を目指していきます。



SDGs推進に向けた主な取組

区民や事業者の方に向けて、SDGsの概要や区取組をご紹介します。

- 職員出前講座
(オンライン版「教えて!せりさん SDGsってなに?」もあります)
- 区公式ホームページやSNSでのSDGs情報の発信
- 健康アプリ「モンチャレ」を活用したSDGsポイント事業
- 各種イベントでのパネル展示 など



動画はこちらから



詳細はこちらから

そのほか、職員研修を行い、SDGsへの理解を深め、行動できる職員を育成しています。



「SDGs宣言事業」を行っています。

事業者の方を対象として、SDGsの達成に貢献する活動の取組事例(葛飾区SDGs宣言)を募集し、区公式ホームページなどで情報発信しています。



葛飾区SDGs宣言受付



できることから始めてみましょう!

あなたの一歩で世界は変わる!

「SDGs = 世界(地球規模)の話」と敬遠してしまう方も多いのではないのでしょうか。SDGsは国や自治体だけでなく、個人や事業者ができる取組もたくさんあります。一つ一つの行動が積み重なれば、社会を変える大きな力になります。

STEP 1 知る まずは興味のあるゴールについて調べてみましょう。

STEP 2 考える 自分にできることを考えてみましょう。

STEP 3 行動する 考えたことを実践してみましょう。

取組事例



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2030年までに持続可能でより良い世界の実現を目指す国際目標のことで、貧困や教育、気候変動など達成すべき17のゴールがあります。

17のゴールの概要はこちら!

- | | | | |
|----------------------|---|-----------------------|--|
| 1 貧困をなくそう | 1 貧困をなくそう
生活に困る、貧しい人がいないようにしましょう | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
新しい技術をみんなが使えるようにしましょう |
| 2 飢餓をゼロに | 2 飢餓をゼロに
みんなが栄養のある食べ物を十分に食べられるようにしましょう | 10 人や国の不平等をなくそう | 10 人や国の不平等をなくそう
人と人の平等、国と国の平等を守っていきましょう |
| 3 すべての人に健康と福祉を | 3 すべての人に健康と福祉を
赤ちゃんからお年寄りまで、みんなが健康に生きられるようにしましょう | 11 住み続けられるまちづくりを | 11 住み続けられるまちづくりを
みんなが住みやすいまちをつくらう |
| 4 質の高い教育をみんなに | 4 質の高い教育をみんなに
世界中の人が学べる環境をつくらう | 12 つくる責任 つかう責任 | 12 つくる責任 つかう責任
環境も健康も守れるように、ものをつくり使ったりしましょう |
| 5 ジェンダー平等を実現しよう | 5 ジェンダー平等を実現しよう
「男だから」「女だから」、そんな時代はもうおしまいにしよう | 13 気候変動に具体的な対策を | 13 気候変動に具体的な対策を
これ以上、地球を暑くしないための行動を起こそう |
| 6 安全な水とトイレを世界中に | 6 安全な水とトイレを世界中に
みんなが安全な飲み水とトイレを使えるようにしましょう | 14 海の豊かさを守ろう | 14 海の豊かさを守ろう
魚を獲りすぎず、ごみを減らし、海と海の生き物を守っていきましょう |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
自然にやさしいエネルギーを、世界中の人々に届けよう | 15 陸の豊かさを守ろう | 15 陸の豊かさを守ろう
陸の環境を守り、多様な生き物が生き続けられるようにしましょう |
| 8 働きがいも経済成長も | 8 働きがいも経済成長も
経済成長を進め、みんなが人間らしい仕事をして、もっと世界を良くしよう | 16 平和と公正をすべての人に | 16 平和と公正をすべての人に
争いのない平和な世界をみんなで作ろう |
| | | 17 パートナースhipで目標を達成しよう | 17 パートナースhipで目標を達成しよう
みんなで作って目標を達成しよう |

問い合わせ

政策企画課 (SDGs推進担当) 電話 03-5654-8142 FAX 03-5698-1501

メール sds@city.katsushika.lg.jp

区公式ホームページ (SDGsの達成に向けて)



災害ボランティア活動支援体制づくり 災害ボランティア活動支援

葛飾区社会福祉協議会は、区と締結している「災害時におけるボランティア活動に関する協定」に基づき、区内で大規模災害が発生した場合に、災害ボランティアの活動拠点となる災害ボランティアセンターを設置します。そのため、日頃から、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練や各種講座などを通じて、災害時対策や災害ボランティア活動支援を行っています。



- 災害ボランティア講座
- 災害ボランティア体験講座
- 災害ボランティアセンター設置・運営訓練
- 災害ボランティア登録制度
- 普及啓発活動
- 災害支援三者交流会
(ボランティア団体やNPO法人、関係機関との連携体制づくりなど)



福祉・ボランティア出前講座

地域や学校へ講師を派遣し、車いす体験や手話など、さまざまな講座を開催して、福祉やボランティアに関する普及啓発を行っています。



その他の事業

- ボランティア講座
- ボランティア相談
- 福祉教育推進活動
- ハンディキャブ運行事業
- ボランティア保険
- 施設・備品・貸出

詳細は

ホームページをご覧ください。



葛飾 社協 ボランティア 検索

社会福祉法人
葛飾区社会福祉協議会

ボランティア・地域貢献活動センター

開設日時

月曜日～金曜日・第1・3土曜日
午前8時30分から午後5時まで(第2・4・5土曜日・日曜日/祝日・年末年始を除く)

場所

東京都葛飾区堀切3-34-1 ウェルピアかつしか1階

問い合わせ

電話 03-5698-2511 FAX 03-5698-2513 メール vc@katsushika-shakyo.com

ボランティアやNPO活動についての相談窓口

ボランティア・地域貢献活動センター

「ボランティア・地域貢献活動センター」は、ボランティア活動をしたい方と、ボランティアを必要とする方をつないでボランティア活動の輪を広げます。また、ボランティア団体やNPO法人などを支援するとともに、葛飾区内の地域貢献活動の活性化を図るために講座や交流会なども開催しています。



区内のさまざまなボランティア活動を紹介! かつしかボランティアまつり

ボランティア団体、NPO法人などの紹介や活動をPRするため、年1回、秋に実施しています。参加団体には「他の団体との交流」、来場者には「ボランティア活動について知ってもらい、活動に参加するきっかけ」の場となっています。

令和7年度は、ボランティア団体やNPO法人など、地域で活動する各団体による周知・啓発ブースを設置しました。各団体は体験型の企画を盛り込みながら、それぞれの活動内容を工夫してアピール。来場者は



熱心にブースを巡り、地域の多彩な取組に触れていました。また、誰もが気軽に参加できるボランティア活動として「バルーンアート体験会」も実施しました。

「はじめたい、継続したい」を支援! 地域貢献活動サポート事業

職員や専門家による相談事業

一般相談

活動方法、団体の結成や運営、NPO法人の設立などの相談

専門家による相談

団体を運営する上で必要な税務、会計など、専門的な相談(予約制)



ボランティア・NPO入門講座 (かつしか区民大学 単位認定講座)

地域貢献活動をこれから始めたい方、基礎的な知識を学びたい方向けの講座

協働関係の構築

個人や団体、各関係機関との連携及び協働関係構築のサポート

交流会

令和7年度には、法律や税務に関する講座に加え、区内で防災・減災に取り組む団体やNPOの活動紹介や体験を通じて、地域との交流を深め、活動内容を広く周知することを目的とした「地域貢献活動フェア」も実施。

情報の収集と発信

情報誌「かつしかゴト。」の発行、メルマガやSNSの発信